

第2次江田島市総合計画審議会（第4回）要点録

開催日時	平成26年2月5日（水）午後2時～2時50分
開催場所	江田島市役所 本庁 2階会議室
出席者	<p>■審議会委員（敬称略）</p> <p>城田 俊彦 広島県過疎地域振興課 課長 樋上 美由紀 江田島市教育委員会 委員（審議会副会長） 小方 憲三 江田島市自治会連合会 会長 藤田 里子 江田島市女性会連合会 副会長 前田 政子 江田島市老人クラブ連合会 副会長 青木 博美 安芸地区医師会江田島ブロック ブロック長 大石 君枝 江田島市社会福祉協議会 理事 久保河内 鎮孝 江田島市漁業振興協議会 会長 伊藤 富美雄 江田島市観光協会 会長 中谷 隆 県立広島大学 教授（審議会会長）</p> <p>■江田島市</p> <p>正井 嘉明 副市長 土手 三生 総務部 部長</p> <p>【事務局：総務部企画振興課】</p> <p>亀田 浩司 企画振興課 課長 仁城 靖雄 企画振興課 課長補佐 道本 浩二 企画振興課 主任</p> <p>【事務局：株式会社地域計画工房】</p> <p>山下 和也 増村 嘉大</p>
欠席者	<p>■審議会委員（敬称略）</p> <p>富田 美保 江田島市PTA連合会 母親代表 村上 浩司 江田島市農業委員会 委員 宇根川 昭男 江田島市商工会 副会長 フンク カロリン 広島大学 准教授</p>
傍聴者	2人
会議次第 及び資料	<p>会議次第</p> <p>1 開会 2 会長あいさつ 3 協議事項 （1）基本構想案について【資料1-1, 1-2】 （2）今後のスケジュールについて【資料2-1, 2-2】 （3）その他 4 閉会</p> <p>【資料】</p> <p>資料1-1：第2次江田島市総合計画～基本構想案～ 資料1-2：第2次江田島市総合計画～基本構想案～【要約版】 資料2-1：平成26年度総合計画策定予定 資料2-2：第2次江田島市総合計画策定スケジュール</p>

会 議 記 録	
事務局	<p>1 開会</p> <p>本日は、お忙しい中お集まりくださりまして誠にありがとうございます。</p> <p>会議を開催するに先立ち事務局からお知らせします。 本日の会議資料について、ご確認くださいませようお願いします。 資料は、次第、委員名簿、資料1-1から資料2-2までございます。また、参考資料としまして、第3回審議会の議事録をつけております。もし、ないようでしたら事務局にお申し付けください。</p> <p>本日の会議も、これまでの会議と同様に議事録を作成いたしますので、録音をさせていただいております。あらかじめご了承くださいませようをお願いいたします。</p> <p>それでは、ただいまより第2次江田島市総合計画審議会の第4回を開催いたします。審議会は次第にそって進めさせていただきます。</p> <p>それでは、会長からごあいさつをお願いいたします。</p>
会長	<p>2 会長あいさつ</p> <p>皆さん、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。 いよいよ審議会も4回目で、非常に長い間、貴重なご意見をいただきました。 今日、皆さんに修正案を合意いただけましたら、その後、審議会から市長に答申をしたいと思っておりますので、引き続きご協力をいただきたくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日の会議には14名中、出席者は10名、欠席者は4名となっています。よって、江田島市総合計画審議会条例第7条第2項の規定により委員の2分の1以上の出席がありますので、会議成立の定足数に達していることをご報告させていただきます。</p> <p>それでは審議会条例第7条3項に会長は会議の議長となるとありますので、ここからの進行は会長へお願いします。</p>
会長	<p>3 協議事項</p> <p>それでは、次第に従いまして協議を進めていきたいと思っております。 次第の3（1）でございますが、基本構想案についてです。 これまで、基本構想案につきましては、前回の審議会において基本理念や大枠の方向性は皆さまから合意をいただいたところですが、前回の審議会にもありましたように、若干の修正を必要とする箇所が何箇所かありました。それを修正したものを資料としてお手元に届けてあるかと思っております。 この修正につきましては、私に一任をいただくということでありました。私も事前に修正した箇所をチェックしました。また、事務局とも協議し、皆さまからのご意見等を録音しておりますが、間違いがないか確認しつつ修正をいたしました。 修正の内容については事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（1）基本構想案について【資料1-1, 1-2】</p> <p>それでは前回からの修正箇所についてご説明いたします。資料1-1と資料1-2をご覧ください。 （「基本構想案について」説明）</p> <p>※内容は資料1-1, 1-2のとおり</p>

【平成26年2月5日：第2次江田島市総合計画審議会（第4回）要点録】

会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>修正箇所等を含めた形で、皆さまからご意見を伺いたいと思います。</p> <p>地域拠点に切串を入れました。今までは支所の所在地を地域拠点としていましたが、地理的条件を考えれば、切串の辺りも拠点になるのではないかという風に判断しまして、付け加えさせていただいたところです。</p> <p>前回では橋の話がありましたが、それが出来る前までに、道の駅、あるいは海の駅というものを整備するという方向で、先取りするような形でこちらの方にぎわいを創出し橋を呼び込む方が良いのではないかが判断理由というところでもあります。</p> <p>まずは、にぎわいの場所をしつらえようと。短い期間で手の届きやすい目標になると思います。</p>
委員	<p>事前にいただいた資料を読ませていただいて、目標があつてこれが必要でというのはわかったのですが、基本構想案の図がありますが、もう少しすっきりとした方が良いのかなと思います。これは苦勞して作られたのだと思いますが、例えば12頁に「恵み多き島を実現するための2つの戦略」とあつて、その下に図があつてそれが中心になるのだらうと思います。「市民満足度の高いまちづくり」と「未来を切り開くまちづくり」というのが大きく来て、恵み多き島を実現していくと。</p> <p>要約版を見たときには、その2つがパツと目に入らない気がしました。書いてはあるものの、戦略としての第1戦略、第2戦略というようなイメージがなく、黄色い部分の恵み多き島というところへ行っているのかなとこの図では思います。中身としてはわかるのですが、もう少し2つの戦略がわかつて、それに向かってどういう取組があるのかというのがわかりやすい図がないかなというのを思いました。</p> <p>色々考えられた結果の図なので難しいかも知れませんが、少し違った視点から皆さんにスッとわかるようになればと思います。一般の方は全部は読みませんので。</p>
会長	<p>皆さんから賛同いただきました後、専門業者に印刷を頼むものと思います。その時に、もう少し図の部分は業者の視点から変わることもあると思います。</p> <p>この構想案に出ているものは、いわゆる要約図になります。答申についてはこの図で仕方ないとして、これから市民の人たちに理解して貰うために1枚物のリーフレット、パンフレットといったものを作成するときには、細かいこと、横断的施策の事業名を省いて、委員が言われたように一目で2つの施策がわかるようなリーフレット用の図になるよう、業者の人と相談して、アイデアを貰いながらやれば良いのではないかと思います。その辺りのことは可能でしょうか。</p>
事務局	<p>資料1-2については要約版になりますので、まだまだ修正をかけていきたいと思います。資料1-1は答申することになりますので、31頁の図を削除させていただければと思います。図については、改めて要約版を検討する中で対応できればと思います。</p>
会長	<p>31頁は要約図だと思って見ていたので、必ずしもリーフレットになるとは思っていません。業者の方は慣れていきますので、ポイントはどこかというのを教えれば、さっとキャッチコピーのようにわかりやすくしてくれると思いますので、事務局の方をお願いしたいと思います。</p> <p>委員からのご要望もありました観光の事も入れさせていただいたところです。</p>
委員	<p>色々協議をして、修正部分は修正してあるので、特段言うことはないかと思います。</p>
会長	<p>他の委員いかがでしょうか。</p> <p>他にないようでしたら、基本構想案は31頁の要約図を省いた形での構想案を市長に答申したいと思いますがよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>(全員同意)</p>
会長	<p>それでは、異議はないようですので、協議事項3(1)は認めていただいたと言うことで、中間報告ですが基本構想案を答申したいと思います。</p> <p>それでは、(2)審議会の今後のスケジュールについて事務局から説明をお願いします。</p>

【平成26年2月5日：第2次江田島市総合計画審議会（第4回）要点録】

事務局	<p>（2）今後のスケジュールについて【資料2-1, 2-2】 それでは資料2-1と資料2-2をご覧ください。 （「今後のスケジュールについて」説明）</p> <p>※内容は資料2-1, 2-2のとおり</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>審議会の議題としては大事な審議事項がこれから6回あります。実施計画、基本計画という一番大事な事になります。</p> <p>基本構想案とは違う形で、私からのお願いもあるのですが、できるだけ委員には参加していただきたいということもあり、次回の審議会の予定を皆さんからお聞きし、次回の予定を調整させていただこうかと思っています。具体的で大事な事業等が絡んできますので、ぜひ皆さんからのご意見を頂戴したいと思います。</p> <p>私からの補足になりますが、次回からの予定を前もって組んでいただくということにさせていただきますと思います。</p> <p>スケジュール案、ワークショップを中心とした市民の方々からの意見を吸い上げるというやり方、他にもこういうやり方があると言うことがありましたら教えていただければと思います。</p>
委員	<p>ワークショップを行いながら市民の意見を聞くというやり方については良いのではないかと思います。事務局も言われましたように、今回は基本構想でまちづくりの基本理念であるとか施策の体系といったところ、計画の推進方策については議論が少し足りなかったかなと思いますが、そういった所も含めて今回は基本構想であり、具体的に何をやるか、それを実現するかは次からだと思っています。</p> <p>計画の中で目標を定めています。例えば目標人口を2万3千人にするということで、推計人口より3千人程多い。人口増減の要因とすれば、自然増減で亡くなる方や生まれる方がいると思います。もう一つが社会増減で、転出する方と転入する方。そこをどうするかということにポイントを絞らないといけない。例えば、自然減を減らすと言うことは高齢者の方に長生きしてもらおうという事もありますし、子どもをたくさん産み育てられるような子育て環境を用意するという事です。結婚するにしても、そういう機会がない方もいらっしゃると思いますので、そういう方が結婚する機会を得られるようにするとかですね。</p> <p>社会減で言えば、どこで減っているかという、おそらく働く場とか教育の問題。出る人はどういう理由で島から出ていくのか、一方で島を求めてこられる方が何を求めて来ているのかをきっちりと整理することによって3千人確保していくのかということになるかと思います。</p> <p>市民満足度の目標が70点で現状では55点くらい、この15点の差は何か、何をすればこの15点が埋まるのか、そういった視点から市民満足度の高いまちづくりを議論していただきたいと思っています。交流人口についても目標総観光客数が倍です。結局は積み上げなので、どこにどれだけのものを増やしていくかという話になります。江田島のどこにどれだけのものがあるか、今の54万人をベースにどれだけのものを呼び込んで倍にするのか、本当にこの目標が達成できるようにするためにはどうするのかという観点で基本計画、実施計画を作るに当たっては議論していくべきじゃないかなと思います。</p> <p>そうしないと、基本構想で作った施策の方向性、この市をどうしていくかというものに届かなくなるので、そこをしっかりとこの計画が達成できるような議論を進めていきたいと思っています。</p>
会長	<p>全くその通りでございます、私と委員はどちらかというと外部からの監査というような立場で参加しているという風にも受け取れます。</p> <p>これから県の行政の絡みも頭に置いていただいて、我々が提案していく計画、実施計画をチェックしていただくという風にしたいと思います。</p>

【平成26年2月5日：第2次江田島市総合計画審議会（第4回）要点録】

<p>会長</p>	<p>内部の人と外部からの評価でずれるところが出てきますので、そのズレをどうやって調整していくのかということ。自治会をはじめ、各協議会、団体からの委員もいますので、言いたいところとしては自分の持ち場を発展させたいというところはあると思いますが、もう少し俯瞰した形、全体の視点から自分たちで何が出来るかというところで、こういう形で参加しましょうということで進めていただければよろしいかなと思います。また委員には外部から俯瞰した江田島を見ていただいて、良いものを作っていきたいと思います。</p> <p>私の方から、どの程度実現できるかはわかりませんが、江田島出身の大学生が当然いますので、ワークショップに参加をしていただければと思います。江田島出身の学生たちから、江田島がどうあれば若い人たちが魅力を持った島だと言ってもらえるのか、そういう意見をいただければと思い、学生等のワークショップの検討を入れさせていただいております。</p> <p>高校生は是非参加していただくと言うことで考えていますが、どうですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>高校生を対象にするか、中学生を対象にするかはまだ決まっておりません。</p>
<p>会長</p>	<p>絵画コンクールは前回の総合計画の裏表紙に、小中学生の江田島市の夢プランというテーマでコンクールを行っているので、今回もやってみようということです。入賞者には記念品を贈呈するというだけではなくて、絵に込めた思いを短いながらもコメントしていただきたいと思っております。</p> <p>それを広報も含めて、マスコミなどで取り上げていただけたらと思いますので。この絵画コンクールも総合計画の1つの事業として行うこととなっています。スケジュールに関しては提示しているスケジュールでやらせていただきたいと思っております。事務局は大変だろうなと思いつつ、注文をつけておりますがよろしくお願ひしたいと思っております。</p> <p>それでは協議事項の（3）のその他についてですが、何かございますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>特にございませぬ。</p>
<p>会長</p>	<p>皆さんからご意見、ご要望があれば是非言っていただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>私ども、広島県の中で中山間地の振興条例を作っており、ここと同じように計画づくりに入っていて目標をどうするのか、そこにどうしていくのか。逆の立場で事務局をやっているのですが、なかなか難しいということは重々わかっていますけれども、やはり目指すべきものに対し、そこに向かってチャレンジしていくのが大事かなと思います。</p> <p>計画を作っていく中での流れ、アンケートというのも非常に参考になりましたので、感謝しております。</p>
<p>委員</p>	<p>どうしても自分の仕事の環境ばかりしか見えない、近視眼的になります。ちょっと視線を上げて見ることができるといいなと思いますが、人口が2万人を切るという中で2万3千人でストップさせたいというのはなかなか大変なことだかなと思います。</p> <p>この島に何が足りないのか、近視眼的ですが医療とか介護をやっていますので、そういう仕事の人足りないと思います。せっかく育てても、ある年には結婚して出て行ってしまふ。子どもが出来たらとかです。何故かなと思うと、子育ての環境が悪くなく、保育所があっても延長保育するところや時間が限られているとか、お産の後に常勤で働こうと思ってもパートでしかできないと。そういう環境のある町には保育所が午後8時までであるところもあります。バラエティに富んでいて、色んな保育環境があります。そういうインフラ、ハードじゃなくてソフトの環境を整えていかないとそういう人は出て行ってしまいます。</p> <p>近視眼的な意見になりますが、保育所を一括して集め、スタッフを集めれば色んなバラエティのある保育サービスが出来るのではないかなと思います。</p>

【平成26年2月5日：第2次江田島市総合計画審議会（第4回）要点録】

会長	<p>その辺りも、今後は出てきます。私には近視眼的意見には聞こえませんでしたので。一つの所にあることを拠点といいます、集うという場所を意図的に作っていかないといけないかと思えます。</p> <p>社会減をなんとか食い止めていかないと、自然減はなかなか致し方ない部分がありますので。その辺りで、人口を増やすこと、色々な事情で出て行くのを防ぐ、職場などの状況で出て行かざるを得ないという人もいますと思えますので、観光も含めて知恵をいただきたいと思えます。</p> <p>市民の方は色々なことを提案されるのではないかと思えます。</p> <p>また、若い学生の中には色々なアイデアを持っている人もいますので、関わりを持ってもらえれば良いのではないかと思えます。親しみを江田島に持ってもらえれば、彼らの自主的な活動が展開していき、色々な表情を持つのではないかと思えます。</p> <p>1つの大学では意味がないので、江田島出身の人をキーパーソンにして広げていければという風に思っています。その辺を事務局と相談しながら仕掛けていければと思っています。</p>
委員	<p>初歩的な質問ですが、総観光客数の54万人とかの根拠はどこから出ているのでしょうか。平成17年以降減っている原因とか要因がわからない。他にも含めて数字の根拠がわからないので、何をもってそういう数字が出てきたのか知りたいなと思えてます。</p>
委員	<p>今度の実施計画には委員が言われたような形で、なんでそういう数字になったのか具体的にあげないと説得力がないと思えますので、内容は勉強していきたいと思えます。</p> <p>交流人口にしても100万人の目標を掲げていますが、その具体的なプロセスを言わないと説得力は無いと思えますので、実施計画にはその辺りを反映していかないと絵に描いた餅になるという思いもあります。</p>
会長	<p>宮島なら観光客数は船のチケットを買う人の数を検出しているらしいので、それに似た形で算出できないのでしょうか。陸上からの部分は算出できないのかもしれませんが。</p>
事務局	<p>総観光客数は県に報告している統計の数字で、数箇所の観測点を設けており、そこに来られた数を毎月聞いており、それを合算して算出しています。</p> <p>そういう意味では、二つの観測点に同日に訪れていけばダブルカウントになりますが、他に適当な指標がないため、この数字を活用しています。</p> <p>総観光客数が減少している要因としては、平成18年当時で術科学校に年間10万人程度来られていたのが、6万人程度まで減っていることなどがあります。</p>
会長	<p>そういった要因を精査していけば、どこにどうすればいいかとかがわかってくるので、具体的な施策の時にどこの地域の観光に力を入れていくかというのも自ずと出てきます。その辺のデータの収集もお願いしたいと思えます。</p> <p>そういう資料も出せるのであれば出していただき、また分析して考えやすいところが出てきますので。</p>
事務局	<p>県に報告しているデータがありますので、整理して出せればと思えます。</p>
委員	<p>中山間を伺ったときに、色々なものが不便になっていきマイナスのような話ばかりが目につく所もあるのですが、計画の中にもあるように江田島市には色々な良いものがあります。暮らしの中にも、歴史で培ってきたものなど、外から見たら素晴らしいものがたくさんあります。素晴らしいものや町にないものにも目を向けるようにすることを考えて行くべきで、観光では最近では体験型観光とか地元の方と触れあうような観光が流行っています。</p> <p>ワークショップなどでも、良いところをしっかりと引き出す事が一番大事ではないかと思えます。</p>
会長	<p>細かいことにはなりますが、宇品辺りに観光客数何名などと掲げておくに関心を持ち、何かおもしろいことがあるのかと思いついてみようかという事もありますので、そういった戦術や戦略も附記しておけば良いのではないかなと思えます。</p>
委員	<p>道の駅や海の駅は中山間の関連でできるのでしょうか。海辺の新鮮市場なども補助金が入っているかどうか。</p>

【平成26年2月5日：第2次江田島市総合計画審議会（第4回）要点録】

委員	<p>そういったものを作っておられるのは中山間地域が多いです。</p> <p>海辺の新鮮市場は基本的には地元でやられているのではないかと思います。道路とかの附帯施設のような形で駐車場施設みたいなものには補助金のメニューがあると思います。県にも補助金のメニューがありますので合致するものがあれば使えるかと思いますがケースバイケースです。</p> <p>ご相談いただければどのようなメニューが使えるかについては、言えると思います。</p>
会長	<p>海の駅の先行例はあるのでしょうか。</p> <p>先行事例があるのであれば、どのような状況なのか事例調査をしていただきたいなと思います。</p>
委員	<p>海の駅については調べたのですが、道の駅に沿ったような物はなかったかと思います。</p>
会長	<p>海の駅については江田島が先行しているかもしれないということです。</p> <p>色々と意見はあると思いますが、協議事項以外の内容は市長がお見えになり、答申をした後に意見交換という形で、皆さんの意向を伝えていただければと思います。</p>
会長	<p>4 閉会</p> <p>他にないようでしたら、これで協議事項を終了したいと思います。</p> <p>以上をもちまして、第2次江田島市総合計画審議会の第4回会議を閉じたいと思います。皆さんには審議していただきありがとうございました。</p> <p>引き続き、市長への答申と意見交換がありますのでよろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>この後、会長から市長へ答申を行う予定としております。委員のみなさまにもご同席いただきたいと思いますのでよろしく願いいたします。</p>